



夏休みの出来事

1 リオデジャネイロ・オリンピック開催

2016年8月5日～8月21日の17日間、ブラジルのリオデジャネイロで第31回オリンピック競技大会が開催されました。新聞では、「**205の国と地域が参加**」と報じられましたが、「国と地域」とはどのような意味でしょうか。地図帳のp.145～149の「世界の国別統計」では197か国が記載されています。ということは、地図帳に載っている197か国以外の国や地域が参加したことになります。どのようなことでしょうか。「**国と地域**」の「**地域**」とは、①「独立した政府が存在するが、承認されていない政府・国家」、②「自治権が認められている植民地や保護領」を意味します。リオ・オリンピック参加地域に該当するのが、アメリカ領サモア、アメリカ領ヴァージン諸島、アルバ、イギリス領ヴァージン諸島、グアム、ケイマン諸島、チャイニーズタイペイ(台湾)、香港、バミューダ、パレスチナ、プエルトリコの11地域です。地図帳で確認しましょう。

地図帳に記載されている独立国でリオ・オリンピックに参加していないのが、クウェート、ニウエ、バチカンです。クウェートは、IOCから出場停止処分を受けています。ニウエは、地理通信第5号で紹介した国です。バチカンはカトリック教徒の総本山で、宗教機関でありながら国としての側面も持つ世界最小の国家です。

ということで、リオ・オリンピックには、「194カ国と11地域」が参加したことになります。この内訳は国の立場によって異なります。日本政府は、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)を国として認めていませんから、日本政府は「193カ国と12地域」とするでしょう。

また、内戦などによる難民のために初めて「難民選手団」が結成され、シリアや南スーダンの難民選手が参加しました。

2 イタリアとミャンマーでM6地震、同日発生

新期造山帯のアルプス＝ヒマラヤ造山帯に位置するイタリア、ミャンマーで同日にM6の地震が発生しました。

イタリア中部ノルチャ近郊では、8月24日午前3時36分(日本時間午前10時36分)ごろマグニチュード(M)6.2の地震が発生し、死者281人に達しています(26日現在)。

ミャンマーでは、8月24日午後5時5分(日本時間午後7時35分)ごろ、中部チャウの西郊を震源とするM6.8の地震があり、同国政府によると、国内で計4人が死亡、1人が負傷し、東南アジアの三大仏教遺跡の一つとされるパガン遺跡群では仏塔約170基で先端部分が崩れました。ミャンマーは新期造山帯ですが、**火山は見られません**。

